



NO,130

令和 6 年 3 月 22 日
ゆたかこども園
園長 岡村 豊

令和 5 年度 ゆたかこども園

自己評価・学校評価の結果報告 について

当園は、国の方針にそって「自己評価」「学校評価」を実施しています。
「子ども達の為に指導を充実し、地域から信頼される運営を図る為」、実行しています。

① <教職員「自己点検、自己評価」の実施について>

教師一人一人が人間的にも、保育技術も向上もするように評価目標をたて、努力しました。
その結果を教師が自己評価をして、園で総括としてまとめました。文科省の方針通り“教師とこども園の資質の向上”にがんばっていることを御報告いたします。

② <保護者による当園の教育保育に関するアンケートについて>

保護者の方に実施した、当園の教育・保育に関するアンケート結果を報告します。

③ <学校関係者評価について>

学校関係者評価として、公開保育を実施したり、①②の結果を評価委員の方に報告し、最終的に今年度の取り組みの評価いただきました内容をご報告します。

ゆたかこども園は、昭和 43 年 4 月に“地域の幼稚園教育をよりよいものにしたいと夢をもって、現理事長・園長がゆたか幼稚園を開園し、本年で創立 56 年目です。そして、この令和 5 年度末で 5,742 人の卒園生となりました。

地域の幼稚園教育を、他にない よりよい教育にするという幼児教育の内容に夢をかけ、学園の運営と幼児教育の指導内容に専念しています。

今後も子どもの夢と運営の責任を双肩に、信頼を得られるよう教育の質の向上を図り、地域から選ばれるこども園として努力いたしますのでどうぞよろしく願いいたします。

一本園の教育内容は

- | |
|---|
| <p>① 年齢別教育に加えて、異年齢教育を導入し、思いやり、やる気、意欲、態度を養う。</p> <p>② モンテッソーリ教育思想と教具を取り入れ、生活教育、感覚教育、数教育、言語教育、体育教育、楽器指導等、遊びを通して知識・技能を身につけ、小学校へスムーズにつながる教育をする。</p> <p>③ 自発活動により、主体的に遊び、自ら考える力を養う。
一人ひとりの個性と発達段階に応じた年齢別の遊びの援助を大切にする。を、掲げています。</p> |
|---|

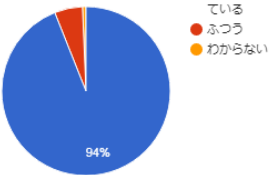
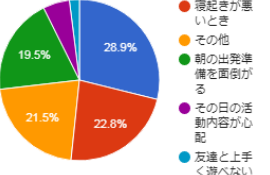
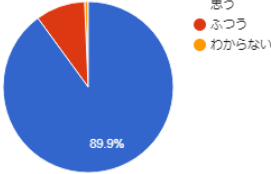
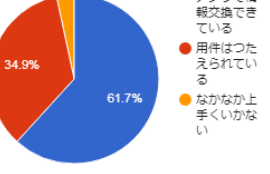
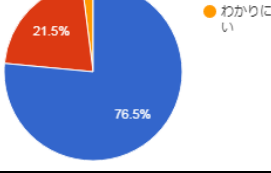
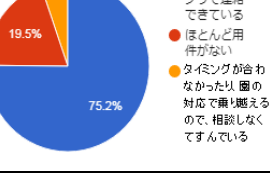
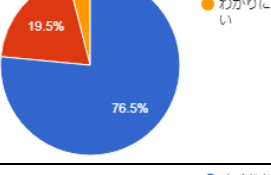
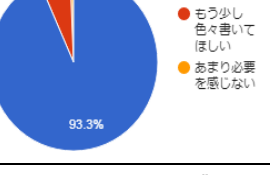
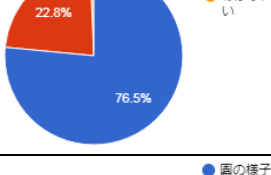
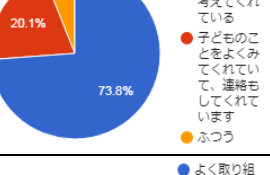
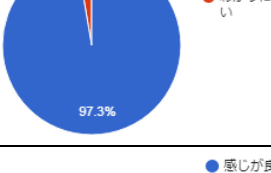
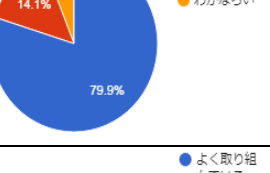
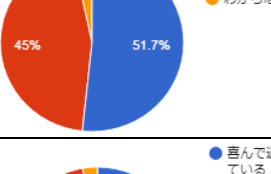
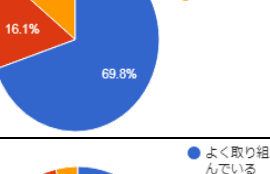
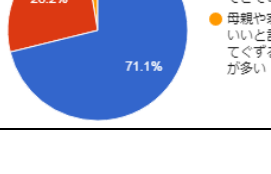
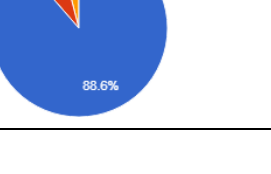
他園にない、きめ細かい教材教具と設備で、子どもが大切な幼児期を過ごしているのも、一人一人が大変よく育っています。

今年度の、結果については、以下のとおり、報告します。

①＜教職員「自己点検、自己評価」の実施結果（総括）＞

評価目標		評価項目	総括
教師・保育士	1.安全管理	1.“命を預かる責任で”対応 2.事故防止対策 3.預かり保育時の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・園で起きた怪我は園での責任という対応で、行動できた。 ・保護者には、怪我の状況を連絡し、報告を速やかに行えた。 ・命を預かる仕事をしているという自覚と責任のもと、怪我、事故のないよう、子ども達の立ち位置を把握し危険な遊びをしていないか、見逃しのない目配り、気配りができた。 ・遊具の研修(エール)を受け、子ども自身がけがをしないように、正しい遊び方を教え、安全に遊ぶように指導できた。 ・怪我の発生時は、まず、園長・副園長・看護師に報告できた。 ・怪我が起きたら、①園医 ②保護者 ③園医の指示で、救急車、病院へ、園の責任で移送できた。 ・体の小さな変化にも、すぐに看護師に診てもらった。体の傷がないかもチェックした。 ・昼寝でプレスチャックをし、呼吸確認をした。 ・窒息しないように口の中に食べ物が残っていないかも注意した。 ・外遊びの時は注意深く監視し、高所から落下しないようにそばについて、気をつけて見れた。 ・怪我の時に「誰が」「どこで」「何を」「どんな遊びをしていたのか」、状況を園児本人から聞き、確かな情報を関係者に報告できた。 ・年齢の低い、歩行の不安定な子、環境への点検ができた。 ・つかまり立ちの子には手をひっぱるとぬけるので、個人発達を丁寧に見ることができた。 ・歩きはじめの子は目を離さないように、教師同士が声を掛け合えた。
	2.人権に配慮した保育	1.人権尊重の保育実践 2.“不適切保育”と“虐待”に関する研修 3.気になる子(特別支援)の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・不適切な指導や虐待につながる指導にならないよう、一人一人に丁寧に声をかけることができた。 ・一人一人の成長を認める言葉がけと、性格に合った言葉掛けをし、一人一人を尊重しながら保育・教育ができた。 ・安心して過ごせるよう、“児童の心に納得できる言葉”と笑顔で発達を促すことができた。 ・乱暴な言葉、大きな声で話すなどの指導方法は、威圧感を与えるので行わない。 ・発達障害以外の愛着障害についても、専門の講師に説明を受け、支援の方法を学ぶことができた。
	3.保育の資質向上	1.モンテッソーリ教育から学ぶ5領域への指導の充実 2.発達段階の理解・個性の理解による異年齢教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・モンテッソーリ教育の研修を受け、教具の理解を深めることができた。 ・園内研修をすることで、クラス担任が同じねらいを持って、教具の提供ができた。 ・研修に積極的に参加し、レポートをまとめて自分の保育を教師全体で発表しあい、指導方法の園全体のポイントを各教師が、共通認識できた。 ・言葉の出ない子に発話を促すチャンスを見逃さず、「それでいいんだよ」「上手に言えたね」と誉めた。 ・発達段階を考えて、年齢・月齢・家庭での育ちにより、支援の違いに合わせた指導力を身につけた。 ・1、2歳児は歩行・睡眠・食事・着替えなど、生活が自立できるように、敏感期発達に合わせた支援の方法を観察し、支援できた。 ・発達相談の受診をすすめたり、発達検査の結果で、個別指導ができた。
職種別業務担当	1.安全運転	1.事故を起こさない命を守る業務の遂行	<ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕を持って運行する。車内の消毒など、清潔にする。思いやり運転に心掛けた。 ・点検の準備、乗車人数の確認、保護者対応は、バス停では手短にするなど、保護者が安心できる運行できた。 ・人数確認と月一回のSOSボタン練習日を取り入れ、車内マナーを気をつけることができた。 ・バスの中の保育は、言語指導や、季節にあった音楽を流すなど、保育につながる関わりをすることができた。 ・安全確認しづらい時は、一時停止をして、確認した。 ・左右をよく見て、事故防止、最徐行で、巻き込みを防げた。 ・横断歩道を渡ろうとする人を安全に渡らせる。 ・バスの置き去りのないようアプリや保護者からの電話、メールチェックを見逃さないよう、スクールバスを運行できた。 ・園児、保護者に笑顔で挨拶できた。
	2.安全安心給食	1.栄養士の食育授業 2.安全安心の給食の提供 3.食中毒・アレルギー児の誤食のどの気道確保のため細かく切る	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食の工夫、こども農園での栽培活動、野菜の調理など、料理の工夫、食育活動の収穫の野菜をおいしく調理できた。 ・アレルギー除去、代替え食、食中毒など、細心の注意をはらって給食提供できた。 ・自己管理を徹底し、健康増進を心がけ、欠勤することなく給食業務を遂行できた。 ・安全に当日が迎えられるように、終了後は掃除、片付けを効率よく行えた。 ・数量・鮮度を伝票と発注書が正しいか、食品が間違いないか、納品のタイミングに数量・鮮度のチェックをもれなくできた。
	3.書類 金銭の管理	1.書類の提出期限、担当場所に早めに届ける 2.効率のよい仕事の処理、能力の効率化への工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の事故のないよう、管理、処理ができた。 ・お金の計算は繰り返し見直し、ミスを防げた。 ・仕事の優先順位を考えて、メモに書きながら忘れやミスのないようにできた。

②<保護者による当園の教育・保育に関するアンケート結果について>

<p>Q1 こども園の「教育目標」や「方針」について思うこと</p> 	<p>Q9 登園を嫌がる時は、どんな理由ですか？</p> 
<p>Q2 ゆたかこども園の「保育内容」は</p> 	<p>Q10 日々の先生との情報交換は</p> 
<p>Q3 こども園発行の保護者の方への「ゆたかだより」は</p> 	<p>Q11 子どもの教育相談は</p> 
<p>Q4 園生活様子を伝えるクラスだよりの「ドキュメンテーション」や「アルバム写真」は</p> 	<p>Q12 給食の「内容」や「行事食の内容」は</p> 
<p>Q5 子どもの成長の様子を伝える「家庭連絡簿」や「連絡ノート」は</p> 	<p>Q13 ゆたかこども園に通わせてどうですか？</p> 
<p>Q6 「保育参観」について</p> 	<p>Q16 「安全管理」について</p> 
<p>Q7 ゆたかこども園の雰囲気は</p> 	<p>Q17 「人権に配慮した保育」について</p> 
<p>Q8 毎日、喜んでこども園に通っていますか？</p> 	<p>Q18 「保育の資質向上」について</p> 

③<学校関係者評価について>

学校評価委員会にて、以下の通り、評価いただきましたことを報告します。

令和5年度 ゆたかこども園 学校関係者評価 まとめ

(評価年月日 令和6年3月18日)

	評価目標	評価 (A・B・C・D)
1	安全管理 について	評価委員4名 全員 A評価
2	人権に配慮した保育 について	評価委員4名 全員 A評価
3	健康・体調管理 について	評価委員4名 全員 A評価

	評価目標	評価 (A・B・C・D)
1	安全運転 について (運転手・添乗員)	評価委員4名 全員 A評価
2	安全安心給食 について (給食員)	評価委員4名 全員 A評価
3	金銭の管理 について (事務員)	評価委員4名 全員 A評価

意見・感想

- ・ 本当に素晴らしい教育をされていると思います。継続していくことが大切だと思いますので、次年度以降も取り組まれていかれると良いと思います。
- ・ 先生方がいつも子どもたちを大事に見ていただいていると思います。
- ・ 先生方がいつも笑顔で、子どもたちに接している印象がとても強い園です。これからも保育方針をまげることなく進めていって下さい。
- ・ 「同じねらい」「共通認識」と、全職員が、一つの方向を向いて、保育・指導に向かおうとしていることが伺える。とても大切なことであると思う。

以上、今年度の実施結果報告とさせていただきます。